

【環境マネジメントの推進】

JRA の環境への取組みを着実に実施するとともに、環境関連法令の順守や、廃棄物の適正処理の徹底、また、環境リスクへ適切に対応するため、環境マネジメントの推進に努めています。

(1) 環境マネジメント体制を着実に推進する

① 環境マネジメント体制の構築

JRA では、理事長を委員長とした「環境委員会」のもと、環境への取組みを着実に推進するためのマネジメント体制を構築しています。

[環境マネジメント体制はこちら](#)

② 環境関連法令・条例の順守

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」や「循環型社会形成推進基本法」等を順守し、廃棄物の適正処理やリサイクルの推進に努めています。

また、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」や、各自治体の定める地球温暖化対策条例・制度等に適切に対応し、地球温暖化防止に努めています。

なお、東京都環境確保条例に係わる地球温暖化対策報告書の公表については、以下リンク先をご参照ください。

- ・ [東京都環境確保条例に係わる地球温暖化対策報告書の公表について（「東京都環境局ウェブサイト」へのリンク）](#)

③ 環境に配慮した調達・契約の推進

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（グリーン購入法）」及び「国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律（環境配慮契約法）」に基づき、環境に配慮した物品の調達や契約を推進しています。

「グリーン購入法」に係わる環境物品等の調達方針及び調達実績の概要、また、「環境配慮契約法」に係わる契約締結実績の概要については、以下リンク先をご参照ください。

- ・ [グリーン購入法](#)
- ・ [環境配慮契約法](#)

(2) 廃棄物の適正処理を徹底する

① 廃棄物の適正処理

事業活動に伴う全ての廃棄物については、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に

において自らの責任によって適正に処理する必要があると定められていることから、JRAは廃棄物の適正処理を徹底しています。その一例として、競馬場施設の維持・管理作業などに伴い発生する剪定枝葉・落ち葉・芝カス等については、施設構内において可能な限り堆肥化するなど JRA 自らの責任の下での自家処理を実施しています。



馬場内に積まれた芝カス（東京競馬場）

また、美浦トレーニング・センターの使用済馬房敷料は、トレーニング・センター内にあるプラントで堆肥化（コンポスト処理）した後、農業関係者などに出荷して、肥料・土壌改良材や家畜牛の敷料などに活用されています。

（3）環境コミュニケーションを適切に実施する

① 競馬場やウインズでの環境コミュニケーション

JRA は、関係団体や協力企業、そしてお客様との協力関係を築きながら環境への取組みを推進してまいります。

そこで、お客様との環境コミュニケーションの一環として、ごみの分別や公共交通機関の利用促進などについての啓発ビデオやポスターを作成し、全国の競馬場やウインズで放映・掲示しています。

また、全国の競馬場や一部のウインズでは「クリーンキャンペーン」と題して、レースの合間などに職員や清掃スタッフが各所を巡回し、お客様へのご協力を呼びかけながら、ごみの回収を行っています。



競馬場でのクリーンキャンペーン